

平成 28 年度「中学生ふるさと民泊学習推進事業」実施報告書

長門市立菱海中学校 第 1 学年 (35 名)

平成 28 年 5 月 26 日～5 月 28 日 実施

1 活動のねらい

- 民泊や農業体験等をとおして、幅広い年齢層との多様な交流を進め、積極性・協調性・自律性を高め、コミュニケーション力を育て、豊かな人間性と社会性を育む。
- 生徒自身が訪問地域の人々の生活の様子を体験をとおして知る中で、自己理解の場として、また自己肯定感の高揚と将来の目標設定の良い機会とする。
- 友達の良さを見つけ、自分の良さを発揮し、望ましい人間関係をつくる。

2 全体の指導計画 【主な活動地域名：周南市鹿野地区】

	期 間	活動の内容	時数
事前指導	4 月 26 日～ 5 月 24 日	○班づくり・系の決定 ○きまりづくり ○しおりづくり ○時程の確認	6
実施	5 月 26 日～ 5 月 28 日	○鹿野地区市街地散策 ○和紙漉き体験 ○家業体験&民泊 ○大豆畑での作業 ○鹿野産大豆を使って豆腐作り	12
事後指導	6 月 2 日～ 7 月 5 日	○新聞づくり ○お礼の手紙 ○事後アンケート	5

3 活動の展開

5 月 26 日 (木)		5 月 27 日 (金)		5 月 28 日 (土)	
8:30	学校出発	9:00	民泊家庭から集合	8:30	各家庭で家業体験
10:30	オリエンテーション		「山間部の食を学ぶ」		
11:00	鹿野地区散策		大豆畑で作業体験		
12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食
13:30	和紙すき体験	13:00	鹿野産大豆を使って豆腐づくり		各家庭よりコアプラザかのへ集合
	和紙による葉づくり				
15:30	入村式	16:00	体験活動終了	13:30	離村式
	対面式		各家庭へ移動	14:00	コアプラザかのの出発
16:00	各家庭へ移動		家業体験と民泊	16:00	学校到着
	家業体験と民泊			16:20	解散

4 実施上の留意点

- できるだけ費用の削減を図るために、往復の交通手段として市所有のマイクロバスを利用した。
- 民泊先では、家族の一員としての役割を果たして行動するよう指導した。
- 3日間の活動の内容を新聞にして、民泊先の家庭に届けた。また、礼状を送付する活動を設定することが、礼状の書き方を学ぶことや、自分たちの活動をその都度きちんと記録することの意欲を高めた。
- 食物アレルギーに関しては、生徒の家庭から健康状況の調査を行い、その内容を事前に受入れ先に送るとともに、対面式のあとで受入れ家庭の方と打ち合わせを行った。



【鹿野地区散策】



【和紙すき体験】

5 活動の成果と課題

(1) 成果と課題

- 事後アンケートでは、すべての生徒がとても楽しかったと回答している。
- 5月の下旬という、まだ学級づくりをしている時期に行ったので、班編成によって人間関係づくりを意図的に仕組むことができた。
- 家業体験や受入れ家庭の手伝いを行ったことで、活動後に自分の家庭で手伝いをする生徒が増えた。
- 参加した生徒の感想として、「家族が増えた」「初めての体験ができた」「同じ班の人と仲良くできた」という意見が多かった。生徒が肯定的にこの活動をとらえていることが分かった。

● 指導上の課題点等

夜中に具合が悪くなった生徒がおり、病院に搬送したことがあった。生徒のけがや体調不良等の緊急事態への対応について、学校と受入れ団体が連携し、連絡体制や病院への搬送のための態勢を十分整えておく必要がある。

(2) 今後の改善点

受入れ団体を通じて地域の病院とも事前に連絡を取り、民泊中の病気やけがへの対応を想定し、その対応の仕方について教員で共通理解を図りたい。



【豆腐作り】



【大豆畑での作業体験】



【鹿野地区の自然を学ぶ】